

令和4年度

事業報告  
決算報告

救いを託されている。

大切な人を思う時、

赤十字が動く時。



日本赤十字社 奈良県支部  
Japanese Red Cross Society

— 目 次 —

令和 4 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	.....	2
2	赤十字講習の充実	.....	7
3	青少年赤十字の育成	.....	9
4	国際活動の推進	.....	11
5	救護看護師の養成	.....	12
6	血液事業の推進	.....	13
7	赤十字ボランティアの育成	.....	13
8	効果的な広報活動の展開	.....	21
9	活動資金の募集及び表彰制度	.....	22
10	奈良県支部有功会	.....	24

令和 4 年度 一般会計決算報告

1	令和 4 年度 一般会計決算報告	.....	25
2	令和 4 年度 会費収入	.....	26

参考資料

1	令和 4 年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・	27
2	令和 4 年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・	28
3	令和 4 年度 市町村別講習一覧	..... 29

# 令和 4 年度 事業報告

## Ⅰ 災害救護体制の強化 -災害からいのちを守る-

令和 4 年度は、7 月から 8 月にかけて、全国各地で豪雨や台風の影響により甚大な被害をもたらしました。

また、近年は大規模地震による災害等も頻発しており、近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

このため、災害に備え、救護班の編成と、訓練や研修の実施、救護資機材の整備を重点的にを行い、救護体制の充実強化に取り組みました。

### (1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名称	班数	備考(委託契約締結日)
奈良県総合医療センター	2班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構)
奈良県西和医療センター	2班	
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日委託契約締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日委託契約締結
合計	8 班	

※1 班の体制:医師 1 名・看護師 3 名・主事 1 名・調整員 1 名 計 6 名

### (2) 救護訓練の参加

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主催	実施日	訓練名称	会場	支部参加者 (参加総数)
赤十字 奈良県支部	6 月 18 日	第 4 ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	田原本町青垣生涯学習センター 田原本町社会福祉協議会	64 名 (367 名)
行政 奈良県	10 月 23 日	奈良県防災総合訓練	橿原運動公園	20 名 (1,000 名)
	11 月 19 日	近畿地方 DMAT ブロック訓練	奈良県庁、橿原運動公園	7 名 (300 名)
	令和 5 年 1 月 27 日	奈良県国民保護共同 図上訓練	奈良県庁、生駒市役所	2 名 (180 名)



▲第 4 ブロック(近畿)合同災害救護訓練  
～避難所での巡回診療～



▲県防災総合訓練  
～防災ボランティアによる担架搬送～



▲近畿地方 DMAT 訓練  
～本部での情報収集～

### (3) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合 医療センター	奈良県立医科 大学附属病院	天理よろづ相談所 病院白川分院	奈良県総合 リハビリテーションセンター
コーディネーター (医師)		福島 英賢 浅井 英樹	關 匡彦	
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代	南田 哲平		
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	松井 俊典 岡田 和也		西島 正人
スタッフ (主事)		植田 真弘		

※医療コーディネーターチームは、医師・看護師・薬剤師・主事（事務職員等）で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※支部職員2名が主事として登録しています。

### (4) 救護体制強化のための研修

救護班等の知識と技術の向上を図るため、研修会に参加しました。

月日	研修名称		主催	参加人数
	内容			
6 25	防災ボランティアリーダー養成研修会(WEB) ・防災ボランティアリーダーの役割と業務 ・日本赤十字社のボランティア活動 ・災害時の活動事例紹介		本社	1名 (支部職員)
12 8~ 9	原子力災害対応基礎研修会 ・日本赤十字社の原子力災害への取り組み ・救護活動における放射線の基礎知識		本社 京都府支部	9名 (奈良県総合医療センター 5名 市立奈良病院 2名 血液センター職員 1名 支部職員 1名)
R5 1 21~ 22	日赤災害医療コーディネーター研修会 ・災害医療コーディネーター体制 ・災害関連法規と災害時公衆衛生活動 ・事例から見た日赤災害医療コーディネーター ・日赤災害医療コーディネーターにおける各段階での役割		本社	2名 (奈良県立医科大学附属病院 2名)
3 14	被災者支援コーディネーター育成研修会 ・講義「被災者支援コーディネーターについて」 ・演習「災害シミュレーション」		奈良県防災プラットフォーム 連絡会	2名 (防災ボランティアリーダー1名 支部職員 1名)



▲原子力災害対応基礎研修会

## (5) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

(令和4年度から令和6年度までの3カ年計画)

【令和4年度に新たに整備した主なもの】

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
無線基地局更新	150MHz	1式	災害救援車	三菱ekスペース	1台
無線機ハンディー機	ケンウッド製 400MHz	6台	AED 本体	日本光電 AED-3100	3台
救護員手袋	洗える皮手袋 (LL・L・M・Sサイズ)	80双	炊飯袋		30,000枚
組立式点滴架台	ガードル架513	1台	資機材整備パレット	D800mm×W1100mm×H150mm	70枚
電動吸引機	ブルークロス 卓上型3電源	1台	ターンテーブル	小型マワールミニ 450mm	1台
災害救援車 (地区分区)	ダイハツハイゼット	24台	組立式トイレ (地区分区)	トリプルエース 車椅子対応型	19台



▲無線機ハンディー機



▲災害救援車



▲災害救援車(地区分区)



▲組立式トイレ(地区分区)



▲AED 本体

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※( )の数字は令和4年度に整備したもの

品名		数量	品名	数量	
救護班 装備品	医療資機材携行用靴(1セット4バック)	7	大型フレームテント	1	
	救護班要員携行バック	30	エアertent(大型:ハイブリット式)	2	
	大型救急箱	5	エアertent(小)	1	
	パルスオキシメーター	9	組立式テント	6	
	電子体温計(非接触体温計含む)	23	ワンタッチテント(大3・小4)	7	
	ターニケット(止血帯)	50	プライベートテント	1	
	自動体外式除細動器(AED)	3	間仕切り用ブラーション(2種類)	30	
救護班要員 装備品	救護服:上下	196	簡易トイレ(ラップボン)	11	
	ヘルメット	30	簡易トイレ用ワンタッチテント	12	
	救護服:雨衣	30	自家発電機(ガソリンタイプ)	6	
	救護服:防寒衣	30	蓄電池	1	
	救護服:Tシャツ	110	投光器	5	
	防護メガネ	20	誘導灯	5	
	救護員手袋	80(80)	冷暖房機器 (冷暖房器:2、暖房器:1、冷房器:3)	6	
	LEDヘッドライト	10	診察台	8	
	懐中電灯	10	折畳式寝台	80	
	ペンライト(ホルダー付)	30	簡易ベッド	6	
	寝袋	50	傷病者用毛布	70	
	万能ハサミ	20	スクープストレッチャー	3	
	ホイッスル	50	担架	8	
	非常食	アルファ米	385	担架架台	6
パン		100	組立式点滴架台	1(1)	
ドライスープ(2種)		285	電動吸引機	1(1)	
惣菜(3種)		200	LEDランタン	9	
携帯おにぎり		100	拡声器	3	
水(500ml)		960	リヤカー(大・小)	各1	
ようかん(5本入)		17	レスキューカー	2	
			フォークリフト	1	
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ	1	移動炊飯器	8	
	防護服セット	6	通信 機器	業務用無線基地局(150MHz・400MHz)	2(1)
	デジタル個人線量計	7		業務用無線陸上移動局(車載機)(〃)	3
		業務用無線陸上移動局(携帯機)(〃)		9(6)	
支援要員 資材	ボランティアユニフォーム	40		アマチュア無線局	1
	ボランティア反射チョッキ	50		室外設置用外部アンテナ(衛星携帯電話用)	3
	ボランティア帽子	50		デジタル通信システム (D-STARレピーター)	2
	防寒衣	59		特定小電力トランシーバー	10
	雨衣(白色・黄色)	50		携帯電話	1
災害 車両	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1		データ通信端末	1
	救急車	1		デジタルカメラ	3
	災害救援車	5(1)		災害用PC・タブレット	3
	救護資機材運搬トラック	1		災害用テレビモニター	1
救護 員 教材	AEDトレーナー	8(8)		衛星携帯電話	3
	蘇生法教育人体モデル(全身)	4(4)			

【地区区分(市町村)】※( )の数字は令和4年度に整備したものの

品名	数量	品名	数量
災害救援車	52(24)	ワンタッチテント(大)	24
移動炊飯器	53	自動体外式除細動器(AED)	30
発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	発電機:ガソリンタイプ 900W	3
LED 投光機:スタンドタイプ	36	発電機:プロパンタイプ 850W	11
組立式トイレ(車いす対応)	19(19)		

## ② 救援物資の備蓄、配付状況

○備蓄状況(支部・地区区分において備蓄)

毛布	緊急セット	安眠セット	布団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
3,130枚	1,374セット	1,127セット	451組	1,210枚	743枚	1,521枚

○救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	—	—	9件

○火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	16世帯	毛布	緊急セット	布団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人数	49人	57枚	17セット	37組	47枚	0セット	8枚	9枚

【弔慰金の支給】

人数	金額
5人	100,000円



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット

## (6) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



▲(株)八百彦商店との物資支援協定  
(H26.2.11 締結)



▲一般社団法人奈良県LPガス協会との物資支援協定(H29.1.23 締結)



▲板倉石油(株)との物資支援協定  
(H29.10.25 締結)

## (7) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また、同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和4年度受付実績】

(単位:円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
平成30年7月豪雨災害義援金	2	1,365	令和4年6月30日	66,876,583
令和2年7月豪雨災害義援金	17	40,479	令和4年9月30日	14,475,015
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	10	186,780	令和4年6月30日	143,000
令和4年7月大雨災害義援金	4	115,789	令和4年10月31日	
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	22	343,916	令和5年3月31日	
令和4年台風第15号災害義援金	9	192,063	令和4年12月28日	
合計	64	880,392		81,494,598

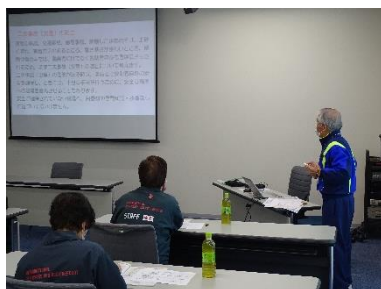
## 2 赤十字講習の充実 —いざという時に備えて—

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和4年度は、県内各地で213回開催し、延べ5,676人の方に受講いただきました。また、ガイドライン改訂に伴い、幼児安全法と健康生活支援講習指導員への伝達研修を実施しました。

### (1) 地区分区と共催による地域での講習会

県内全体での講習普及を目的に、地区分区と共催による地域での講習に取り組みました。

月日	講習内容	実施場所	参加人数
R5 3 20	救急法基礎講習 ・心肺蘇生法 ・AEDの使用法 ・気道遺物除去 など	香芝市総合福祉センター	8人



▲地区分区と共催による地域での講習(香芝市地区)



## (2) 防災・減災のための講習会

- ① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県内各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	10回	389人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	14回	394人
計		24回	783人

- ② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業指導者研修会への参加と、支部主催で養成研修を実施しました。

月日	研修名・内容	実施場所/主催	参加対象及び人数
5 10	第1回防災教育事業主任指導者研修会 ・令和4年度防災教育事業について ・指導者養成研修について	支部(WEB)/ 本社主催	防災教育指導者 支部職員 1人
11 8	第2回防災教育事業主任指導者研修会 ・新たなカリキュラムについて ・防災教育に関する講演 ・目標設定を目的としたグループワーク	本社/ 本社主催	防災教育指導者 支部職員 2人
11 10 11	防災教育事業指導者養成研修会 ・日本赤十字社が実施する防災教育事業について ・防災教育事業指導者について ・災害への備え ・災害エスノグラフィー ・災害図上訓練(DIG)	支部/ 支部主催	ボランティア 支部職員 6人



▲赤十字防災啓発プログラム



▲防災教育事業指導者養成研修会



## (3) 救急法等の講習会

- ① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	10回	199人
救急員養成講習	12時間	7回	157人
短期講習	2時間以上	102回	2,760人
指導員養成講習	30時間	1回	6人
計		120回	3,122人



▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

## ② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳(服を着たまま溺れた場合の対処方法)講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成 I 講習	14時間	1回	3人
短期講習	2時間以上	29回	1,221人
指導員養成講習(ブロック合同)	30時間	-	-
計		30回	1,224人



▲救助員養成 I 講習

## ③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	1回	36人
短期講習	2時間以上	12回	280人
指導員養成講習	30時間	-	-
計		13回	316人



▲支援員養成講習

## ④ 幼児安全法

乳幼児に対する救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	2回	52人
短期講習	2時間以上	39回	579人
指導員養成講習	30時間	-	-
計		41回	631人



▲支援員養成講習

## 3 青少年赤十字の育成 -思いやりを育む-

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

### (1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	28校	75校	19校	10校	132校

## (2) 青少年赤十字創設 100 周年記念事業

- ① 「手紙を送り、優しさについて考える行動」として、活動を通じて青少年赤十字や防災について学んだこと、気づいたこと、今後行動に移していきたいと思うことを、家族や友達、未来の自分へ向けて手紙を書き、他者への優しさを育むことを目的に実施しました。



配布物	参加校	参加人数
ハートラちゃんメッセージカード	奈良市立飛鳥小学校	423 人



▲手紙の作成に取り組んだようす ~奈良市立飛鳥小学校~

- ② 青少年赤十字創設 100 周年記念滋賀県青少年赤十字大会へ参加しました。

月 日	内容	場所	参加対象及び人数
7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青少年赤十字 100 年のあゆみ」上映</li> <li>・青少年赤十字活動功労表彰</li> <li>・守山小学校で青少年赤十字活動「守っ子のつどい」を児童が紹介</li> <li>・甲賀第三小学校教諭「気づき・考え・実行する」の行動目標に取り組んだ教育活動を発表</li> </ul>	滋賀県 守山市民ホール	青少年赤十字指導者 青少年赤十字賛助奉仕団 支部職員 6 人

## (3) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」(小・中・高校生向き)や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」(幼稚園・保育所向き)の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催しました。

### 【講習の開催状況】

月 日	講習内容	場所	参加対象及び人数
5 10 12	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方	奈良市教育センター	奈良市小学校・中学校 初任者 45 人
8 17 19	親子で学ぶ防災教室 ・災害シミュレーション ・身近なものを使った応急手当	支部	県内在住の親子 10 組 24 人
11 14~ 18	防災教室 1・2 年生:地震災害学習 3・4 年生:災害シミュレーション 5・6 年生:竹ひごタワー	奈良市立飛鳥小学校	1~6 年生の児童 423 人



▲親子で学ぶ防災教室



▲防災教室~飛鳥小学校~



#### (4) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
五條市立 五條小学校	防災頭巾を作ろう	190名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災頭巾の役割について知る。</li> <li>●地震発生時、頭を守るための防災頭巾を作る。</li> <li>●全校で避難訓練を実施する。なぜ防災頭巾をかぶるのか、改めて役割について考えさせる。何年も受け継がれた防災頭巾を修繕したり、作り直したりさせる。</li> </ul>



▲防災頭巾を作るようす～五條市立五條小学校～

#### (5) 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
6 29	青少年赤十字全国指導者協議会・総会	支部 (WEB)	役員改選 青少年赤十字の活動報告 青少年赤十字創設100周年イベントの協力依頼	1人

## 4 国際活動の推進 –世界とつながる–

世界192の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。

#### (1) 支部の国際活動への参加

Bangladesh保健医療支援事業に資金協力をしました。



▲ウクライナ人道危機

モルドバに国際救援倉庫管理責任者  
(大阪赤十字病院所属)を派遣

#### (2) 海外救援金の受付

【令和4年度受付実績】

(単位:円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	2	1,611	令和6年3月31日	191,553
Bangladesh南部避難民救援金	2	1,626	令和6年3月31日	69,806
アフガニスタン人道危機救援金	3	14,500	令和6年3月31日	12,744
ウクライナ人道危機救援金	325	22,709,144	令和6年3月31日	8,752,630
2022年アフガニスタン地震救援金	5	263,000	令和4年9月30日	
2022年パキスタン洪水救援金	1	10,000	令和4年11月30日	
2023年トルコ・シリア地震救援金	146	7,076,386	令和5年5月31日	
合計	484	30,076,267		9,026,733

### (3) NHK海外たすけあいの受付

【令和4年度受付実績】

(単位:円)

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	79	85,247	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	27	316,767	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市・香芝市・生駒郡・磯城郡・広陵町の地区奉仕団が協力
街頭募金	13カ所	384,979	地域奉仕団、青年奉仕団が県内各地で実施
ゆうちょ銀行	456	6,838,455	県民から本社への振込
合計		7,625,448	



▲五條市赤十字奉仕団  
～オークワ五条店～



▲御所市赤十字奉仕団  
～スーパーセンターオークワ御所店～



▲王寺町赤十字奉仕団  
～JR王寺駅～

### (4) 赤十字思想の普及・啓発

本社、第4ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加しました。

月日	内容	開催場所/主催	参加人数
R5 2 15~ 17	・国際人道法の基本、赤十字の取り組み ・国際人道法を取り巻く世界の動向 ・支部施設での普及に向けてのアクションプラン	支部(WEB)/本社主催	1人
2 24	・国際人道法入門 ・国際人道法概論 ・赤十字標章 ・有事関連法と日本赤十字社 ・ICRCについて	支部(WEB)/第4ブロック支部主催	2人

## 5 救護看護師の養成 -国内外で活躍できる看護師を-

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、京都第二赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

奈良県支部では、これまでに40名の看護師を養成しています。

(平成22年度まで和歌山、平成23年度から令和2年度まで大阪、令和3年度から京都第二)



▲戴帽式

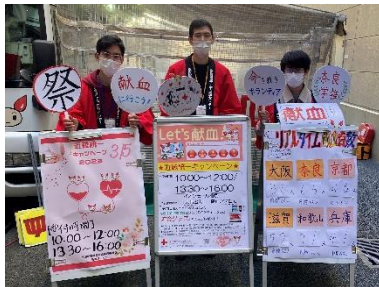


▲看護体験学習

## 6 血液事業の推進 –献血にご協力を!!–

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

- (1) 愛の血液助け合い運動(7月～8月)、全国学生クリスマス献血キャンペーン(12月)、はたちの献血キャンペーン(1月～2月)、バレンタイン献血(2月)、近畿統一キャンペーン(3月)等を実施しました。
- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
  - ・献血セミナー
  - ・学内献血
- (3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出:県有功会)
  - ・愛の血液助け合い運動
  - ・はたちの献血キャンペーン



▲学生献血推進協議会  
(近畿統一キャンペーン)



▲全国学生クリスマス献血キャンペーン



▲若年層献血  
(天理大学ラグビー部)

## 7 赤十字ボランティアの育成 –活動を支える–

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

- (1) 地域赤十字奉仕団(団数及び団員数:39団、2,548名)昭和23年発足
  - ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問(岡山県)と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
  - ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。
- ① 「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」

地域赤十字奉仕団(分団)が取り組む赤十字活動に対し助成金を交付し、奉仕団の活動を促進することにより、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動に助成金を交付しました。

奉仕団名	事業名	内容
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	大宮ふれあい農園「世代をこえて人の輪をひろげよう」	地域の子どもと高齢者が共に野菜や作物を栽培することで作物の成長や収穫の喜びを感じてもらうとともに、新型コロナウイルスの感染予防のためのマスク・手洗いなども併せて啓発した。
	いきいき歌声サロン大宮	コロナ禍のなか、外出自粛が求められ孤立する地域の高齢者がひきこもることなく仲間・居場所づくりが出来る場の提供と、歌うことによる介護予防と健康増進を図ることを目的に開催した。
	ボッチャをやって楽しもう!大宮	東京パラリンピックで人気となったボッチャをしたいとの声をきき、コロナ禍で年齢に関係なくできる行事としてボッチャを企画するとともに、幅広い世代に赤十字活動の普及啓発を行った。
安堵町赤十字奉仕団	出前防災講習会とマスク作り講習会	講習会を開催しても、出かけられない高齢者が多いのが現状で、町内の各自治会、公民館へ出向き、より多くの方を対象に、防災への知識を持ってもらうために、講習会を開催した。



～大宮ふれあい農園～



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団  
～いきいき歌声サロン～



～ボッチャで楽しもう!～



～出前防災講習～

▲安堵町赤十字奉仕団



～非常食炊き出し～

② 地域奉仕団員の知識と技術を身につけるため、研修会や講習会を開催しました。



▲地域奉仕団研修会



▲避難所支援講習会  
～生駒市赤十字奉仕団～

- ③ ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県出身者の方との交流を行いました。  
(9月28日:岡山県瀬戸内市)



▲ふれあい交流会



▲納骨堂参拝



▲歴史資料館見学

- ④ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーンに参加しました。



▲講習普及活動  
～香芝市赤十字奉仕団～



▲献血協力呼びかけ  
～大和郡山市赤十字奉仕団～

- ⑤ 地域内での「法人会費」や「災害義援金」や「海外救援金」、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK奈良放送局での受付に協力しました。



▲ウクライナ人道危機救援金受取:香芝中学校  
～香芝市赤十字奉仕団～



▲トルコ・シリア地震救援金(街頭募金)  
～天理市赤十字奉仕団～

- ⑥ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
大淀町赤十字奉仕団 (団員:18人)	モデル活動名:災害救護に関する活動  赤十字講習の受講、防災施設見学、防災訓練の実施、幼稚園・保育園向け防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」の講習の進め方を受講、モデル活動報告書作成	令和3年度～ 令和5年度



▲赤十字講習の受講



▲防災講習の受講



▲防災施設見学



⑦ 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
4 5~ 10/18	地区委員会	県内 10地区	令和4年度支部・血液センター事業計画報告等	179人
6 1・2	奉仕団中央委員会	本社	中央委員会常任委員改選 各ブロック奉仕団委員長の報告 分科会「赤十字奉仕団の役割と活動を考える」	1人
6 28	奉仕団支部委員会	支部	令和4年度地域奉仕団研修会について	27人
	意見交換会		コロナ禍での奉仕団活動について 若い世代の団員入団、人材育成について	27人
7 19	地域奉仕団研修会	橿原市	国際人道法、応急手当のしかた	152人
10 23	親子でアウトドア (奈良市地区奉仕団)	奈良市	アイラップに焼き込み具材を入れた料理体験	11人
R5 1 22	パンピジャス奈良広報 (奈良市地区奉仕団)	奈良市	赤十字ブース出展の協力	4人
2 22	奉仕団支部委員会	支部	令和4年度事業中間報告 令和5年度事業計画	30人
	意見交換会		奉仕団活動について意見交換 ハートラちゃんぬいぐるみ作成	24人



▲奉仕団支部委員会



▲意見交換会

(2) 安全法指導赤十字奉仕団(団員:111名)昭和52年発足

(救急法指導員78名、水上安全法指導員23名、幼児安全法指導員22名、健康生活支援講習指導員11名)

・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。

① 講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		10回	199人	43人
養成講習	救急法	7回	157人	39人
	水上安全法	1回	3人	8人
	幼児安全法	2回	52人	12人
	健康生活支援講習	—	—	—
短期講習	救急法	91回	2,580人	106人
	水上安全法	29回	1,221人	42人
	幼児安全法	32回	482人	35人
	健康生活支援講習	3回	90人	3人
災害時要配慮者生活支援講習		—	—	—
計		175回	4,784人	288人

## ② 研修会、講習会等

月日	行事名	場所	内容	参加人数	
4	16	総会	支部 WEB	令和3年度事業報告、会計報告 令和4年度事業計画、予算等審議 役員改選	35人
6	17	第4ブロック合同災害救護訓練(準備)	田原本町	資機材積み込み、会場設営など	7人
	18	第4ブロック合同災害救護訓練(本番)		救護所等での担架搬送など	15人
8	20	役員会	支部	研修会、9月講習会について	7人
		実技確認研修		救急法基礎・養成講習の実技確認	18人
9	11	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用など(受講者 16人)	11人
	17・18	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 17人)	9人
10	5・6・13	水上安全法救助員Ⅰ養成講習	大和郡山市	水の事故防止、救助、応急手当など(受講者 3人)	8人
	8・9	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 17人)	5人
	29	役員会	支部	研修会、12月講習会、役員改選について	9人
10	23	奈良県防災総合訓練	橿原市	救護所設営、担架搬送	4人
11	19	DMAT訓練	橿原市	救護所等での担架搬送など	4人
	28	三役会議	支部	研修会講演内容、 12月救急法講習学科・実技確認	2人
12	11	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用など(受講者 14人)	10人
	17・18	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 14人)	11人
R5 1	28	研修会	支部	講演「家庭での感染対策」	25人
		役員会	支部	令和5年度総会、研修会について	11人
2	22	奉仕団支部委員会	支部	令和4年度事業中間報告 令和5年度事業計画	1人
3	4	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用など(受講者 11人)	8人
	11・12	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 15人)	11人



▲総会



▲研修会



▲講習指導

## (3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:16名)昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

・無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。



▲研修会

① 活動・研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
4 9	第4ブロック連絡協議会	大阪市	各府県活動報告、計画	2人
5 29	総会	支部	令和3年度活動報告 令和4年度活動計画 役員改選	8人
	無線取り扱い研修	支部	第4ブロック合同災害救護訓練のボランティアセンター支援での移動無線局運用のための研修	6人
6 18	第4ブロック合同災害救護訓練(本番)	田原本町	ボランティアセンター運営など	4人
12	第4ブロック連絡協議会役員会	大阪市	アマチュア無線規制緩和に伴う第4ブロック協議会としての活動方針について	2人
	奈良マラソン救護支援	奈良市	救護支援	4人
R5 1 22	バンピシャス奈良広報	奈良市	赤十字ブース出展の協力	2人
2 22	奉仕団支部委員会	支部	令和4年度事業中間報告 令和5年度事業計画	1人
無線通信訓練		島根県(10/16)、兵庫県(10/22,23)、北海道(10/30)、和歌山県・宮城県(11/6)、栃木県(12/11)、愛知県(12/18)、鹿児島県(1/7)、神奈川県(2/20)		

(4) 看護赤十字奉仕団(団員:47名)昭和48年発足

・看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等の臨時救護などを通じて赤十字思想の普及に努めました。

① 救護活動回数

区分	回数	派遣人数
臨時救護	27回	48人
団体付添救護	-	-
計	27回	48人

② 研修会、講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
R5 3 22	研修会	支部	一次救命処置(ガイドライン2020) 支部からの連絡事項	12人



▲奈良マラソンでの臨時救護



▲研修会

(5) 青年赤十字奉仕団(団員:66名)

〔 奈良県青年赤十字奉仕団:4名 昭和60年発足  
 近畿大学農学部赤十字奉仕団:56名 平成4年発足  
 奈良大学学生赤十字奉仕団:6名 平成24年度発足 〕

・勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数	
5	9	第4ブロック協議会代表者会議	(WEB) 令和3年度事業報告・収支決算 令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)	3人	
	26	清掃活動(近畿大学農学部奉仕団)	生駒市	生駒駅びっくり通り商店街での清掃活動	16人
6	3	清掃活動(近畿大学農学部奉仕団)	生駒市	生駒駅びっくり通り商店街での清掃活動	7人
8	5	燈花会サポート活動	奈良市	なら燈花会の点灯準備など	8人
	27	第4ブロック協議会代表者会議	(WEB)	書記・監事の辞任に伴う選出	1人
9	2	清掃活動(近畿大学農学部奉仕団)	生駒市	生駒駅びっくり通り商店街での清掃活動	9人
	25	救急法短期講習 (近畿大学農学部奉仕団)	奈良市	心肺蘇生、AED	8人
	30	清掃活動(近畿大学農学部奉仕団、 奈良大学学生奉仕団)	生駒市	生駒駅びっくり通り商店街での清掃活動	8人
10	3	清掃活動(近畿大学農学部奉仕団、 奈良大学学生奉仕団)	生駒市	生駒駅びっくり通り商店街での清掃活動	9人
	22	Kita-iro マルシェ (近畿大学農学部奉仕団)	生駒市	マルシェの設営準備等	4人
	23	親子でアウトドア (近畿大学農学部奉仕団)	奈良市	工作体験のサポート	14人
12	18	NHK 海外たすけあい街頭募金 (近畿大学農学部奉仕団)	生駒市	募金活動	8人
R5 1	22	バンビシャス奈良広報 (奈良大学学生奉仕団)	奈良市	赤十字ブース出展の協力	2人
3	25	第4ブロック協議会役員会	(WEB)	令和4年度事業報告・決算見込み 令和5年度事業計画(案)・予算(案) ブロック役員の選出における各府県の担当について	1人



▲燈花会サポート活動



▲清掃活動



▲親子でアウトドア

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団(団員:17名)昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

- ・青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。
- ・第4ブロック(近畿)支部主催の研修会・交流会を当番支部として開催しました。
- ・青少年赤十字創設100周年記念事業に協力しました。

① 「防災セミナー」や「親子で学ぶ防災教室」への協力や、県内市町村教育長を訪問し、青少年赤十字のPR活動を行いました。

月日	名称	内容	場所	参加人数	
5 11	教育長訪問	青少年赤十字について	山添村	1人	
6 29	教育長訪問	青少年赤十字について	宇陀市	1人	
8	17 19	親子で学ぶ防災教室	災害シミュレーション 身近なものを使った応急手当	支部	3人
	18	防災セミナー	HUG	大和郡山市	1人
11 10.11	防災教育事業指導者養成研修会	日本赤十字社が実施する防災教育事業、 災害への備え、災害エスノグラフィー、 災害図上訓練(DIG)	支部	1人	
R5 2 20	防災セミナー	HUG	斑鳩町	1人	

② 研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
5	20	全国賛助奉仕団役員会	(WEB) 令和3年度会計中間報告 いとすぎ27号発行に関する報告	1人
	31	県賛助奉仕団総会	支部 令和3年度事業報告 令和4年度事業計画	8人
7	14.15	全国賛助奉仕団総会	本社 令和3年度事業報告、会計報告 役員選任 令和4年度事業計画(案)、予算(案)	1人
	29	青少年赤十字創設100周年記念 滋賀県青少年赤十字大会	滋賀県 「青少年赤十字100年のあゆみ」上映 青少年赤十字活動功労表彰 講演など	2人
8 27~ 29	ボランティア・リーダー研修会	本社 赤十字について、日赤の基本方針、赤十字と奉仕団、ニーズの重要性	1人	
10 20	第31回第4ブロック賛助奉仕団交流研修会(当番支部)	奈良市 身近なものを使った応急手当 講演「青少年赤十字SDGs」	11人	

(7) 防災ボランティア(個人)(登録人数:18名)平成9年発足

- ・災害時の対応や、避難生活対応などの救護活動を行います。
- ・「赤十字NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8・11・2月:延べ16名)

① 研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
R5 3 26	研修会	支部	講義「赤十字と災害救護」 非常食づくり、救護資機材の取り扱い 防災セミナー「家庭内DIG」	6人

## 8 効果的な広報活動の展開 –活動へのご理解とご参加を–

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

5月の「赤十字運動月間」では、地区区分区を通じて、「日赤なら」、「赤十字NEWS」などの配布や、近鉄奈良駅前行基広場での啓発用横断幕設置などの広報活動を行いました。

### (1) 支部の広報活動

- ① 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。
- ② テレビ放送(運動月間:5月及び随時放送)での広報活動を行いました。(奈良テレビ、吉野テレビ、下市テレビに継続して放送依頼)
- ③ 広報誌「日赤なら」(5月に20万部)を配布しました。
- ④ 会員等関係者へ赤十字NEWSや会員誌「クロスコムブック」を送付しました。
- ⑤ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑥ 支部の行事や各地域での活動を動画にした「赤十字この1年-奈良県支部版-」を作成しました。
- ⑦ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑧ 報道機関へ、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)

### (2) 地区区分区への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」20万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分区広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区区分区主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報PRを行いました。

### (3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 啓発資材(ポケットティッシュ)3万2千個を作成し、イベント等で配布しました。



▲啓発用横断幕



▲「日赤なら」広報誌



▲バンビシヤス奈良広報

## 9 活動資金の募集及び表彰制度 –活動資金にご協力を!!–

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール(26,000通)での協力依頼、経済団体の協力を得て法人会費への依頼、遺贈による寄付の周知など、活動資金の確保に努めました。

### (1) CSR(社会貢献)実績

#### ① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
(株)ぐりーん	天理市
(株)RISING SUN	橿原市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市
道の駅ふたかみパーク當麻	葛城市
シンシアペットクリニック	三郷町



▲寄付金付自動販売機

#### ② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	オークモントゴルフクラブ	山添村
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	県立万葉文化館	明日香村
中華料理 橘	大和郡山市	吉野カントリークラブ	大淀町
奈良カントリークラブ五条コース	五條市	大和信用金庫	県内各支店

#### ③ 災害時物資支援協定の締結

締結先	設置場所
板倉石油(株)	奈良市
一般社団法人奈良県LPガス協会	奈良市
(株)八尾彦商店	王寺町

#### ④ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業(株)	天理市
(株)サンシーワールド	御所市

## (2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

### ① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
支部長表彰状・感謝状	27人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章	21人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	12人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
本社感謝状	10人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)  
銀色有功章(個人・法人))

### ② 国の表彰制度贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	1人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	2人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等



▲紺綬褒章





## 10 奈良県支部有功会(会員数:407人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、6地域の有功会(奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、宇陀地区、橿原市、生駒市)においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

(1) 全国赤十字大会に参会しました。(5月18・19日:東京都明治神宮会館)

(2) 国内義援金及び海外救援金として90,000円を送金しました。

(令和4年台風第15号災害義援金、令和4年8月3日からの大雨災害義援金、  
令和4年7月大雨災害義援金、ウクライナ人道危機救援金、2022年アフガニスタン地震救援金、  
2022年パキスタン洪水救援金、アフガニスタン人道危機救援金、  
2023年トルコ・シリア地震救援金、NHK海外たすけあい 各10,000円)

(3) 本社の国際活動資金に協力しました。(バングラデシュ保健医療支援事業)

(4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい運動月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(5) 総会、会議等

月日	行事名	場所	内容
7月6日	令和3年度理事会	支部	役員改選 令和3年度事業報告、決算報告 令和4年度事業計画(案)、予算(案)
9月14日	第57回総会	奈良市	役員改選 令和3年度事業報告、決算報告 令和4年度事業計画(案)、予算(案)
10月6日	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	大阪市	役員補選 令和3年度決算報告、令和4年度収支中間報告 各支部紺綬・有功会活動状況報告
11月7日	大和郡山市総会	大和郡山市	令和3年度事業報告、収支決算 令和4年度事業計画(案)、予算(案) 役員改選
12月19日	連絡協議会	奈良市	役員改選 令和3年度決算報告 令和4年度地区有功会活動状況、会計収支状況
R5 3 23	令和4年度理事会	奈良市	令和5年度事業計画(案)、予算(案)、総会開催(案) 令和4年度事業報告、収支状況 令和5年度有功章会員等の増強について
	生駒市総会(文書審議)		令和3年度事業経過報告、決算報告 令和4年度事業計画(案)、予算(案) 新役員体制



▲全国赤十字大会参会



▲総会



▲日赤紺綬・有功会会長協議会総会

# 令和4年度 一般会計決算報告

## 1 令和4年度 一般会計決算

(収入)		(単位：円)				
区分	令和4年度 予算現額	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	前年度増減	付記	
1 会費収入	174,280,000	151,690,470	162,784,425	△ 11,093,955	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金	
2 補助金及び 交付金収入	4,799,000	4,122,219	2,796,293	1,325,926	本社からの交付金	
3 繰入金収入	18,600,000	17,438,234	1,735,253	15,702,981	災害救護資金 国際救護活動資金繰入(個人住民税対象海外救援金)	
4 資産収入	0	790,090	0	790,090	支部災害救援車売却	
5 雑収入	4,101,000	3,025,620	2,324,609	701,011	講師派遣収入、講習用教材費収入等	
6 前年度繰越金	35,000,000	57,577,145	43,214,664	14,362,481	前年度繰越金	
収入合計	236,780,000	234,643,778	212,855,244	21,788,534		
(支出)		(単位：円)				
区分	令和4年度 予算現額	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	前年度増減	付記	
1 災害救護 事業費	55,000,000	54,557,694	22,740,680	31,817,014	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等	
2 社会活動費	39,000,000	26,558,631	23,383,601	3,175,030	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費	
3 国際活動費	8,100,000	7,987,718	1,356,163	6,631,555	バングラデシュ保健医療支援事業 国際救援事業(個人住民税対象海外救援金)	
4 指定事業 地方振興費	12,000,000	11,938,234	5,315,000	6,623,234	災害救護資機材整備費 国際活動基金積立(個人住民税対象海外救援金)	
5 地区分区 交付金支出	16,390,000	9,892,382	9,807,075	85,307	地区分区(市町村)における赤十字活動費	
6 社業振興費	36,000,000	29,878,597	40,123,978	△ 10,245,381	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費	
7 基盤整備交付金・補助金支出	280,000	280,000	300,000	△ 20,000	血液センター施設整備費	
8 積立金支出	16,000,000	15,272,662	5,258,976	10,013,686	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金	
9 総務管理費	26,000,000	24,034,921	22,688,668	1,346,253	支部の事業管理運営費	
10 資産取得及び 資産管理費	1,450,000	1,122,457	1,133,545	△ 11,088	施設管理費	
11 本社送納金支出	23,850,000	20,512,835	23,170,413	△ 2,657,578	本社への送納金	
12 予備費	2,710,000	0	0	0	その他	
支出合計	236,780,000	202,036,131	155,278,099	46,758,032		
次年度繰越金		32,607,647円				

## 2 令和4年度 会費収入

(単位:千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4
一般会費	137,794	118,789	139,707	143,606	135,653
うち地区・分区	79,721	78,892	75,549	75,439	73,711
うち有功会勸奨等	57,675	39,880	64,158	67,852	55,004
うち住民税控除対象の海外救援金※	398	17	0	315	6,938
法人会費	81,303	243,046	19,841	19,178	16,037
計	219,097	361,835	159,548	162,784	151,690

※個人住民税控除対象の海外救援金

H30年度:インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スラウェシ島地震救援金

モザンビークサイクロン救援金

R1年度:モザンビークサイクロン救援金

R3年度:ハイチ地震救援金

R4年度:アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金、トルコ・シリア地震救援金

### (1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議案
令和4年6月8日	人権センター	(1)令和3年度支部事業報告及び収支決算報告 (2)令和3年度血液事業報告
令和5年2月13日	支部	(1)監査委員の任期満了に伴う選出 (2)令和4年度一般会計補正予算 (3)令和5年度支部事業計画及び収支予算 (4)令和5年度血液事業計画

### (2)監査報告

令和3年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査にて、支部監査委員2名の監査を受けました。



▲支部評議員会



▲監査委員監査

## 参 考 資 料

### Ⅰ 令和４年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分	令和４年度		令和３年度		前年度対比	
	実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比		
奈良市	12,143,971	94.9%	12,797,578	93.4%	△ 653,607	
大和高田市	3,461,519	105.3%	3,287,160	98.9%	174,359	
大和郡山市	5,746,754	95.8%	5,997,229	98.5%	△ 250,475	
天理市	2,757,550	103.0%	2,676,130	97.0%	81,420	
橿原市	6,105,454	94.4%	6,464,849	105.8%	△ 359,395	
桜井市	1,975,007	95.4%	2,070,679	104.5%	△ 95,672	
五條市	2,254,400	100.3%	2,248,422	91.9%	5,978	
御所市	1,870,367	95.8%	1,952,500	99.0%	△ 82,133	
生駒市	6,473,891	97.6%	6,636,050	99.7%	△ 162,159	
香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0	
葛城市	2,743,530	98.1%	2,795,320	101.2%	△ 51,790	
宇陀市	2,413,380	100.3%	2,406,060	98.4%	7,320	
一般 会費	市地区計	50,790,823	97.3%	52,176,977	98.3%	△ 1,386,154
	山辺郡	484,100	99.7%	485,500	94.2%	△ 1,400
	生駒郡	4,367,069	96.4%	4,529,991	97.8%	△ 162,922
	磯城郡	4,028,767	99.6%	4,044,630	97.8%	△ 15,863
	宇陀郡	532,000	97.8%	544,000	98.8%	△ 12,000
	高市郡	1,757,092	99.8%	1,761,045	200.2%	△ 3,953
	北葛城郡	6,787,460	98.7%	6,875,550	100.6%	△ 88,090
	吉野郡	4,460,098	98.6%	4,523,438	102.8%	△ 63,340
	吉野西	503,200	101.1%	497,900	97.7%	5,300
	郡地区計	22,919,786	98.5%	23,262,054	103.6%	△ 342,268
	地区分区扱計	73,710,609	97.7%	75,439,031	99.9%	△ 1,728,422
	支部扱計	55,003,962	81.1%	67,851,608	105.8%	△ 12,847,646
	※海外救援金計	6,938,234		315,000		6,623,234
	一般社資合計	135,652,805	94.5%	143,605,639	102.8%	△ 7,952,834
	法人会費合計	16,037,665	83.6%	19,178,786	96.7%	△ 3,141,121
	会費合計	151,690,470	93.2%	162,784,425	102.0%	△ 11,093,955

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和4年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名	救援物資										弔慰金 (件数)	付添・臨時救護 (看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	バスタオル	緊急セット	安眠セット	ブルーシート	タオルケット	回数		人数	
奈良市	4	10	16	10	8	3	0	1	0	3	2	2	
大和高田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
大和郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
天理市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	
橿原市	2	4	2	2	4	2	0	0	2	0			
桜井市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
五條市	1	3	6	3	3	1	0	1	0	0			
御所市	1	9	20	0	9	3	0	0	0	0			
生駒市	2	3	1	2	3	2	0	0	2	0			
香芝市	3	10	10	10	10	4	0	4	5	1			
葛城市	1	5	9	5	5	1	0	1	0	0			
宇陀市	1	3	6	3	3	0	0	0	0	0			
市地区計	15	47	70	35	45	16	0	7	9	4	6	6	
山辺郡山添村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
生駒郡	平群町	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
	三郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	斑鳩町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	安堵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
磯城郡	川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	三宅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	田原本町	1	2	4	2	2	1	0	1	0	1	2	
	計	1	2	4	2	2	1	0	1	0	1	2	
宇陀郡	曾爾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	御杖村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高市郡	高取町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	明日香村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北葛城郡	上牧町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	王寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	広陵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	河合町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
吉野郡	吉野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	大淀町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	下市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	黒滝村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	天川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	上北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	東吉野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野西	野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	十津川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9	
県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	29	
合計	16	49	74	37	47	17	0	8	9	5	27	48	

令和4年度 市町村別講習一覽

	救急法						水上安全法				健康生活支援講習						幼児安全法				
	基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期		
	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	
奈良市	3	48	2	27	35	1,019			7	399	1	36	1	36	7	284	1	35	17	266	
大和高田市					2	40									1	53					
大和郡山市					4	85									1	38			2	27	
天理市					13	382													2	18	
橿原市					6	236			2	42			2	34					1	8	
桜井市					1	18							1	27							
五條市									3	86											
御所市																					
生駒市					5	116			4	377			1	10					4	69	
香芝市	1	8			2	50													2	32	
葛城市																					
宇陀市					1	13			2	73					1	14			1	24	
市地区計	4	56	2	27	69	1,959	0	0	18	977	1	36	5	107	10	389	1	35	29	444	
山辺郡山添村					0	0															
生駒郡	平群町				6	191							1	24					1	5	
	三郷町				1	23													1	6	
	斑鳩町																		2	14	
	安堵町				1	13															
	計	0	0	0	0	8	227	0	0	0	0	0	0	1	24	0	0	0	0	4	25
磯城郡	川西町																			1	5
	三宅町				1	7			1	50											
	田原本町				2	50													2	24	
	計	0	0	0	0	3	57	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29
宇陀郡	曾爾村																				
	御杖村																				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高市郡	高取町				1	13															
	明日香村												2	70					1	8	
	計	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	1	8
北葛城郡	上牧町												1	18							
	王寺町								1	9											
	広陵町												1	10							
	河合町								1	23											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	32	0	0	2	28	0	0	0	0	0	0
吉野郡	吉野町																				
	大淀町				1	14			1	40											
	下市町																				
	黒滝村																				
	天川村																				
	下北山村																				
	上北山村																				
	川上村																				
	東吉野村																				
計	0	0	0	0	1	14	0	0	1	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野西	野迫川村																				
	十津川村																				
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡地区計	0	0	0	0	13	311	0	0	4	122	0	0	5	122	0	0	0	0	8	62	
県主催	3	102	2	84					4	122			2	51					2	73	
その他					6	151															
支部	3	41	3	46	14	339	1	3										1	17		
合計	10	199	7	157	102	2,760	1	3	26	1,221	1	36	12	280	10	389	2	52	39	579	